

広報誌10月号 心の声テーマ「祖父母との思い出は？」

忙しく仕事している両親に代わり私達姉妹を育ててくれたのは明治生まれの祖父母でした。その祖父母にとって当時はクリスマスとは何ぞやの時代でしたが、クリスマスの翌朝には2人の枕元にいつも菓子袋が1つ置いてありました。愛情いっぱい育ててもらったと今も感じています。

K・I【温海】

明治生まれの祖父母と、小さい頃私は一緒に部屋の寝ていました。祖父は昔話が上手く、楽しみで床に就きました。中でも「猿の嫁」が面白くて毎晩毎晩聞きスラスラ語れる様になった思い出があります。遠い昭和30年代です…。

E・H【新余目】

昨年に結婚式を挙げ、今年の8月上旬に出産しました。義祖母の認知症が進んでおり施設に入っていますが、私の名前や赤ちゃんの名前を一生懸命覚えてくれていたことがとても嬉しいです。コロナが落ち着いたら会いに行きたいです。

R・I【三川】

新潟地震のとき祖父が保育園まで迎えに来てくれました。祖父の押す自転車の荷台に乗せられて帰って来たことを覚えています。おとなしい人で、しっかり者の祖母といいコンビでした。

I・K【櫛引】

祖母を「ババちゃ」と呼んでいた。料理上手だった。月々の祀り事のたび牡丹餅と小豆餡をよく作っていた。秋になると「豆名月」「栗名月」そして「芋名月」と続く。納豆、栗、さつま芋を添えて黄粉や小豆餡を乗せた団子とススキ。名月に手を合わせる「ババちゃ」の姿を思い起こす。喜寿になった今でも目に浮かぶ。

K・K【羽黒】

小さい頃、囲炉裏のそばで祖父のあぐらの中によくいました。座いす代わりに寄り掛かれて、暖かく、安心感があったのかも。60年以上も前の事です。

K・S【羽黒】

幼い頃私は、今は亡き祖父母と一緒に布団で寝ていました。眠る前に昔話を聴いたり、足が痛くて眠れない時はさすってもらったり…弟妹がいたので、実質祖父母が育ての親です。天国のじじちゃん、ばばちゃん…私も、ばばちゃんになりましたよ！

E・K【羽黒】

母方の祖父母には手放しで可愛がって頂きました。父方の祖父母と一緒に住んでいたからか、素っ気なく、怒られた記憶が。それでも一回だけ、祖父はバイクの後ろに乗せ、傘屋さんでピンクの傘を買ってくれたのが忘れられません。

S・N【櫛引】

私が小学生の頃、夏休みの宿題の工作は祖父が作ってくれました。手先が器用だったので最初は手伝うくらいでしたが、最後には全て祖父が作った物を持って行きました。

K・Y【朝日】

祖母はとにかく優しく料理がとても上手でした。学校から帰るとお手製のみそ焼きおにぎりがこたつの中で温まっていて、それを食べるのが楽しみでした。両親に内緒でおこづかいももらいました。

Y・M【酒田市】

母方の祖母が鶴岡市出身で、共働きの両親に代わって幼児期面倒を見て貰いました。小4くらいまで毎年夏休みは一緒に泊まりに行き、その頃食べた餡かけ料理が今でも忘れられない味になっています。曾孫を見せることが出来たのが、一番の祖父母孝行になったと思います。

N・N【東根市】

もう20年以上前の話ですが、私の祖母は米のとぎ汁をリンス代わりに使っていました。幼かった私も恐る恐る使ってみましたが、髪の毛がサラサラになったのを覚えています。まさにおばあちゃんの知恵袋でした。

R・Y【福岡県】